

千葉大学感染症情報

(風しんの流行と予防接種公費助成情報)

2013年4月23日

現在、首都圏を中心に風しんが流行しています。風しんとは、風しんウイルスによっておこる、急性の発疹性感染症です。

千葉市でも2月上旬から急激に件数が増加しており、4月21日時点の発生件数が91件で、その大半が成人特に男性であり、20歳代～40歳代までが全体の8割を占めています。

風しんの免疫を持たない女性が妊娠中（特に妊娠初期）に感染すると、白内障、先天性心疾患、難聴を主な症状とする「先天性風しん症候群」の子どもが生まれる可能性があります。

- 1) 高校3年に相当する年齢で麻しん風しんワクチンの定期接種を受けなかった学生（特に大学院生）は任意接種になりますが、追加接種をお勧めします。
- 2) 学生・教職員で妊娠を予定する女性とその配偶者には予防接種をお勧めします。各自治体で公費助成が開始されています。情報をご確認ください。
- 3) 学生・教職員で妊娠を予定する女性の家族やその周囲の方も予防接種を考慮して下さい。

◇ 各自治体の公費助成情報はこちら

千葉市 HP→

<http://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkou/hokenjo/kansensho/Rubella.html>

柏市 HP→

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061800/p014974.html>

その他自治体の情報検索（東京都 IDSC の HP）→

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/vaccine/>